



●月刊神戸つ子43周年パーティー

## 雛の夕べに祝う ブルーメール賞と神戸つ子賞

“賞の重さに負けないよう”  
ブルーメール賞文学部門受賞

詩人 水こじ町子

“賞の重さに負けないよう”  
ブルーメール賞をいたしました。  
ありがとうございました。

冬の須磨海岸は海風が冷たく散歩をする人も多くないのに、その日はいつもより日ざしがやわらかく一人で海へ行きました。

もうそこまで春というおだやかな海に、おもわず“今日の海の色はきれいだね”と話しかけてしまつたほどでした。身体中を海色に染めて家に帰った何分か後に「神戸つ子」の編集の方からブルーメール賞のお知らせがあり、今、見てきた海の色と賞の名前にびっくりしました。

中学生の時、詩が上手だねと言われただけで、むずかしい大人の詩の同人誌に入り、今にいたるまで、うれしい時も大変な時も、なんでもない時も、どこにでもあるありふれた言葉を一度フワーッと宙にほうりあげて、バラバラと落ちてきた言葉をひろい集め詩にしてきました。

この賞を受賞された先輩の詩人の方々に、はづかしくないよう、これからも、この私の好きな神戸の町で、誰かのこころに届くことができる詩を書きつづけていきたいと思っています。

左上／矢田市長・井戸知事・若柳吉金吾師・白川亞樹・五月梨世の男雛女雛。左下／炎樹ショー・森実勉・宮園貴江・小泉編集長



上左より／唐澤まゆこ・水こし町子・小野田實・林同春・藤井美智子・上月倫子。下左より／酒徒番附2004の乾杯・辻有紀

### 美しい舞台を

上月バレエスクール主宰 上月倫子

最高の「予期せぬ出来事」でした。「本当にうちのスクールに?」。そのうちジワジワと嬉しさがこみ上げてきて…。

谷バレエ団での舞台活動から神戸に戻り、スタジオを持つて間もなく39年になりますが、今日までひたすら谷桃子先生から学ばせて頂いた優雅で美しく心に触れる節度あるバレエを自分なりに後進に伝えていければと願いつつ仕事を続けてまいりました。及ばぬながら一步一歩ではありましたが、昨年やっと念願の「ジゼル」全幕を上演するに至りました。

この度、その「ジゼル」の舞台に対し「ブルーメール賞」を頂くことが出来ましたことで、そんな歩みを温かく見守って頂けていたことを実感いたしました。今回の受賞は、そのような温かい目と、これまで私と共に学び歩んできたくれた生徒達の努力、そして周りの方々の心強いご支援があつてこそ感謝の気持ちでいっぱいです。そして今、喜びの気持ちと同時に、今後の仕事に更なる緊張感を覚えております。これを大きな励みに、今後もこの道を歩み続け、皆様に美しく夢のある世界を楽しんで頂けるよう精進していく所存でございます。ありがとうございます。



右上2番目は、榎晴夫さん夫妻に “この道ひとすじ50年”（トムキャンティ）に対して感謝状を贈りました。

食事タイムには、ラグビーの林敏之氏、元オリンピクスの山沖之彦氏らが紹介され、いよいよ宝塚OB。炎樹頃のショータイム。すみれの花咲く頃、民謡などとザートレーで歌い踊る30分。ショートニーに続いてのハイライティントは、「神戸ワイン」と神々の宴。吉田泰巳氏、アリアンナ宮崎京子さん、ゼウス加藤隆久氏らが揃い、新谷琇紀氏の「神戸ワイン讃」で4度目の乾杯！ラストは雑談まつり紅白歌合戦、審査員の摩耶はるこさん、白石京子さん、堀郁子さん、松本幸三氏らが一曲づつ熱唱。紅組は、喜多洋子、口幸子さんチーム、岡村まさこさん、村上美穂さん。白組は巨島輝彦氏と植田正己氏、武蔵泰弘氏の三人が。盛り上ったところで全員でビバサンバを歌つてフィナーレとなつた。

ハイライトのブルーメール賞は、  
水こし町子さん（文学部門）、上月倫  
紀さん（舞台芸術部門）と共に、小野  
田實氏（美術部門）、唐澤まゆこさん  
(音楽部門)、藤井美智子さん(ファッ  
ション部門)の皆さんが、新谷穂紀  
制作の「天使の像」と賞金を。神戸  
子賞は、華僑の林同春氏に。  
乾杯は森美実一氏が長老の風格で  
音頭をとりビールで祝杯。続くく酒  
酒徒番附(2004)の酒徒たちが大  
勢ぞろい。升酒で鬼塚喜八郎氏が大  
音声で乾杯!

3月3日の雛まつりの夕べに、恒例の月刊神戸つ子43周年記念パーティ。神戸ボートピアホテル大輪田の間で開催され、約500名のお客さまをお迎えした。司会は三条杜夫氏、春の海の調べにのせて白川亞樹、五月梨世さんの気品ある男雛、女雛の登場（着付は宮園貴江先生）。次に若柳吉金吾師の長唄“外記猿”が申年にならぬ格調たかく舞い納められ、そして、小泉美喜子編集長からあいさつ。続いて井戸敏三兵庫県知事と矢田立郎・神戸市長のメッセージをいただく。



一見、磁器と見まがう堅焼きの純白の見込みの膚全面に、墨色に浮き出た貫入のデザイン風の各模様のなんと美しいことか!!

靈妙な表現の見込みに茶を点てて一服所望とだれしも言いたくなるであろう。全く不思議なぐらい見事な茶碗の内面の「白」と「黒」との演出効果と言えよう。

他方、この少々小振りの丸形の茶碗の外側の胴部には、南洲（西郷隆盛）の楠公父子の別れに取材した長詩文（黒釉で二十数字）が淡淡と灰釉の上を茶碗をぐるりと一周して書かれているのも奥床しい感じを添えてい

る。

桜井里焼は、古曾部より少し北東の方向、楠公父子

## □ 名器に出会う □

# 桜井里焼茶碗（楠公焼）



胴に南洲黒釉詩文

青木重雄  
〈ひょうご愛陶会顧問〉

訣別の地、桜井里（現在の三島郡島本町桜井）で、天明二年（一七八二）ごろ、同地の楠公父子宿陣の家柄の清水寛造が、遺跡顯彰のため陶業に志し、京都の初代高橋道八について陶法を学び、同年開窯したのが起りである。二代の木左エ門の時代に尾形周平が来窯、その指導で各種の茶器が焼かれ、待宵山焼とも称した。また、岡田久太も招かれて煎茶器にも佳器を出し、この時代に桜井里焼は大いに名声を揚げた。三代は太十郎で楠公父子の別れを描いた楠公焼をはじめて著名となつたが、この茶碗もその時代の作と思われる。長円内「桜井里焼」の印銘が高台内にある。やがて明治維新となり、陶業も次第に衰微し、四代増太郎に至り大正初年に廃窯された。

作品は古曾部焼に類し、堅く焼き縮まつた陶胎に染付、あるいは鉄絵の日用雑器が多いが、中にはこの茶碗のような白釉掛けの瀟洒な作品も伝わっている。三代のころには楠公焼とも称し、楠公旗印の菊水の図や、楠公父子訣別をテーマにした歌や図を描いた各種雑器を多く残している。なお、この茶碗は桜井里焼中の名器の一つと言えると思うが、写真の見込みの部分にかすかながら貫人が認められるのを注視していただきたい。



#### 伊賀三男氏に紺綏褒章授与

この紺綏褒章は、昨年三月にこの桜井里焼茶碗の持ち主でもあるひょうご愛陶会会員の伊賀三男氏が、同期に滋賀県信楽焼陶芸の森美術館へ琵琶湖周辺の古陶約百点を寄贈されたのに対して、国からその功を謝して表彰された時賜わったもので、昨年十二月にこれに見入っている筆者の青木（右）と伊賀氏（左）の二人。場所は県民会館一階ロビーで。



# でん太の 教えてドクター

## その⑦ 良質な歯科医療とは？

お話／足立優歯科診療所 足立 優 院長



**でん太** ドクター、やっと暖かくなつて来たね。春はスタートの季節やから、どんぐり山の仲間たちにも、予防のために歯医者さんへ行くいいチャンスやってすすめているよ。

**Dr.** そりやどうもありがとう。なんとも心強い宣伝部長やね。

**でん太** 自分の体のことなのに、医療に関して、けつこう知らないことが多いもんね。

**ドクター**、これまで歯を失う病気のうち、虫歯と歯周病について教えてもらつたけれど、ほかにはどんなことで歯を失つてしまうの？

**Dr.** 次にあげられるのは、良質な歯科医療サービスが提供されないことによつて、歯の寿命が短くなつたり、ほかの病気を誘発してしまうことだね。

**でん太** ヘー、せっかく歯医者さんに行つて治してもらつたのに、かえつて悪くなることがあるんやね。

**Dr.** そうなんだ。ルールどおりの治療ができるいない場合があるからね。

**でん太** 例えば、どんなのが問題なの？

**Dr.** まず、虫歯の治療で歯を削つた後の詰め物が、その歯にぴったりと合つているかどうかという適合性の問題だね。30ミクロンから50ミクロン（1ミクロン＝1/1000ミリ）のレベルで、隙間や段差がなくきつちりと合つてないといけないんだ。もともと隙間や段差があるところに細菌がたまつて虫歯ができたのに、治療をしてまたそれを作るなら原因を作っているのと同じだからね。

2つ目に、詰物の設計の問題。詰め物をするために歯を大きく削りすぎると、その歯の残りの部分が薄くなるから、物を咬んだ時に割れてしまうことがあるんだよ。物を咬む時、歯には100キロくらいの力がかかるからね。

3つめはかぶせ物の適合性と設計の問題。これは、かぶせ物と歯が隙間なく合つていないと細菌がたまりやすく、歯周病や虫歯の原因になるね。

4つめは、歯の根の治療の問題。歯の根の治療では、完全に神経を取り除いて消毒した後、確実に密封するという精度の高い処置をしないと、ウミがたまり歯茎が腫れたりすることがあるんだよ。どれもみな本来なされていなければならぬルールどおりの治療ができるないことによつて起つる問題だね。

**でん太** なかなか自分では見えない部分やから、良い治療ができるかどうか判断が難しいね。

**Dr.** フロスを入れた時、冠にひつかつたり、ささくれ立つて切れると要注意だよ。また、根の治療をした歯が痛んだり、長期間違和感が続くことも問題だね。

**でん太** ドクター、治してもらつてからでなく、治療をする前にちゃんとしてもらえるかどうかを知るにはどうしたらいいの？

**Dr.** たいていは急な痛みで歯科へ行くことが多いけれど、その時に、まず痛みを取り除く応急処置をしてもらい、痛みがおさまり冷静になつた上で、その後どのように治療を進めていくか説明を受けて、患者さんが自身が治療方法を選

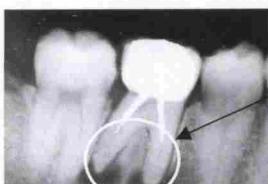
## 〈レントゲンで見る適合性の良否〉

適合性が高いか  
ふせは、歯との  
段差がないので、  
細菌がたまりにく  
くなります。



ぴったりと合って  
いないかふせや  
詰め物は、病気  
や問題の発生に  
つながります。

根の治療が不十分で、再び感染を起こしている場合や、根の先にウミのふくろができる場合は、根の中の掃除をやり直して、再び密封します。



〈治療前〉

神経が入っていた穴が密封  
されておらず、根の先にウ  
ミのふくろができています。

密封が不十分な  
状態と、そのこ  
とにより細菌が  
根の先に作った  
ウミのふくろ



〈治療後〉

掃除をしてたまつたウミを取り、密封しなおしました。

でん太 治療の前に、神経が入っていた穴が密封されておらず、根の先にウミのふくろができる。それを嫌がる医師にはかかる方がいいよ。そういう歯科医院は医療の質に問題がある可能性が高いからね。

でん太 患者はどんなことをしてもらえるのか知る権利があり、お医者さんは患者が解かるように説明する責任があるんやね。

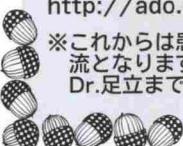
D.r. 良質な歯科医療サービスを提供する医師は説明の手間をおじりだりはしないからね。「医療の質」とは使う材料が高いとか、治療が早いということではなく、まずは患者さんにどのように対応するのかという基本姿勢の問題なんだ。この姿勢のある医師なら治療レベルもまず大丈夫だと思うよ。

がつたり、手間費が見合わないと考え、あえて行わないことがあるのも事実だからね。専門的なことはお医者さんに聞かないといけないけれど、お任せにせず聞いて、自分が納得できてから治療に入つてもらう。患者が医師をうまく使いこなせるぐらいにならないとね。

## 足立 優歯科診療所

神戸市東灘区岡本1・3・33  
TEL 078・411・0024 FAX 078・411・0056  
e-mail.adachi@kba.att.ne.jp  
<http://ado.pr-business.net>

※これからは患者の権利を守る予防歯科医療が主流となります。情報をお知りになりたい方は、Dr.足立までお問い合わせ下さい。



■足立 優 (あだち まさる) 1  
1988年生まれ。大阪歯科大学卒。  
灘区に足立 優歯科診療所開設。  
行動医学の概念を基盤とした自己  
決定に基づく予防管理中心型の歯  
科医療を展開する。

善人になる薬があれば  
テロもひたくりも  
いじめも消える



完成したのですか



1

まだ実験をじとらんのじゃ



2

正直にこたえろ  
おまえは善人か?



いやにかんたんに  
こたえたな

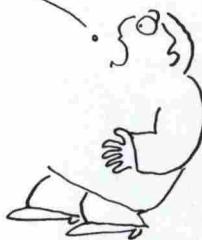
悪人です



3



とにかくこれをのめ



4

ところで教換、善んだ悪んだなどと  
おっしゃいますか、それを分ける基準というものが  
あるのなら、それを  
ものですね。  
よってかわる  
あるならば、  
だれにとっても  
そのあたりの……



5

教えてもらいたい  
それが立場に  
ようなもので  
その善か  
善なのかどうか



とりあえず  
ひとを理屈っぽくする薬は  
完成したようだぞ



とすれば、ひとりの人間を、他者の基準によって、  
うむをいわさず、行動をおこすにあたっての傾向を  
変えようというのには  
な発想であり  
存在してこそ  
であるという  
まことにゆゆしき……



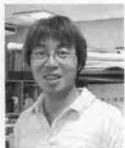
6

まさに全体主義的  
多様な個人が  
ゆたかな社会  
立場からすれば

トム



応援団としての  
コミュニティサポート



吉川健一郎  
コー・プラン



④



①



⑤



②



⑥



③

- ① 住棟間に生まれただんだん畑全景（県営）  
 ② 毎年秋には子どもからお年寄りまでみんなでサツマイモを収穫して、だんだん畑で食べる（市営、県営一緒に）  
 ③ 毎年秋には子どもからお年寄りまでみんなでサツマイモを収穫して、だんだん畑に出てきた踊りの先生を中心で始めた踊りの輪（2001年春のサツマイモの苗植え）  
 ④ だんだん畑の中心に畠のメンバーの三線の畠に収穫祭に登場する、だんだん畠手作りの屋台  
 ⑤ 広場元の大工さんを中心で2001年秋のサツマイモたたけ（こどもおばたけ）ができるとお父さんやお母さんの姿がぐっと増えた  
 ⑥ 市営の一部に「こどもおばたけ」ができるととともにに若いお父さんやお母さんの姿がぐっと増えた

神戸に就職し2年目に、南芦屋浜復興公営住宅（市営400戸・県営414戸、平成10年3月入居）の入居前のコミュニティ形成支援を目的としたコミュニティ&アート計画に携わった。それ以来アートワーク担当の橋本敏子さん（生活環境文化研究所）を団長に、市営、県営にひとつずつ生まれただんだん畑の応援団として関わっている。

こうした復興住宅に入居した人は、これまで生活していた場所、人間関係から切り離されて慣れない高層団地で新たな暮らしをスタートさせなければならなかつた。そこで、建築や屋外空間を設計する人は、人と人が出会い集える空間を用意した。が、つくつて終わりとは言わないまでも、つくり手の意図がそこで暮らす人に伝わらず、だんだん畑をめぐっても、これまで山あり谷ありであったが、何とか毎年収穫祭をしている。

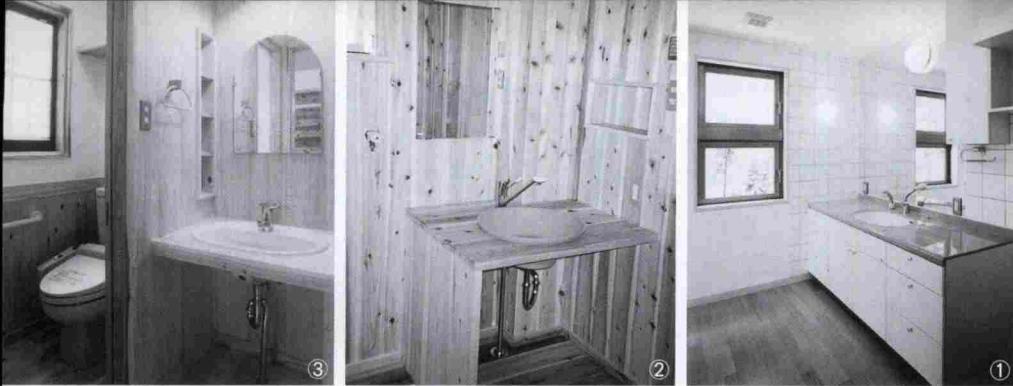
震災後、参画と協働を旗印に、公園づくりなどいろいろな場面で参加の場が増えたが、震災復興の部の人も含め、人のつながりをつくっていく中で、自分達の手でマネージメントしていくためのサポートが大切だと感じた。

住まいの個性④



野崎瑠美

㈱造空間工房取締役  
神戸県建築士会神戸支部長



- ①白を基調とした清潔感を強調した洗面所。大きな壁一杯の鏡が部屋を広く見せています。  
 ②節のある杉の壁材が山小屋のような雰囲気です。木製のカウンターにはめ込んだ手洗い器は檜木鉢に穴を空けたもの。ローコストで清潔を感じさせます。  
 ③ヒノキの壁材で香りが気持ちのいい空間です。大工さん工夫の棚や木製のカウンターで柔らかい居心地となっています。  
 ④木製格子の建具スクリーンで用途を切り、広く見せているトイレ。木の配置で冷たい設備機器に少し安らぎを感じさせてくれます。  
 ⑤バスルームの壁のタイル模様でりんごの木を作ってみました。小さな子供のいる家庭の遊びを入れた浴室です。



パリアフリーという言葉はもう殆どの方の衆知するところとなり、その為に住まいや公共の場でも改善が進んできています。高齢者や障害のある方が、社会への関わりを持つとする時に、その妨げとなる障害を無くし、怪我をしないように、移動しやすいように環境を整えるというものです。家中でも段差を無くしたり、手すりを付けたり、動きやすく怪我をしないための工夫がされるようになりました。特にトイレや浴室など水回りは毎日使うものですから、出来るだけ障害がないようにしたいのです。

高齢者の施設などの浴室や便所で、ステンレスの浴槽や手すりが冷たく光っているのを見るとあまりいい印象を受けないことがあります。浴室や洗面室、便所などで長く過ごす訳ではないのですが、肌に直接触れることがあるだけに、やはり出来るだけ居心地のいい空間にしたいのです。水回りで大切なことは、まず清潔感だと思います。設備の充実によってその清潔さもかなり完璧なものとなっています。衛生設備機器のメカニカルは次々と新しい製品を作っています。設備の充実によってその清潔さもかなり完璧なものとなっています。衛生設備機器のメカニカルは次々と新しい製品を作っています。住まい手にアピールしています。便利で快適な製品が溢れて目移りしますが、少しの工夫で、清潔感や落ち着きのある自分らしい水回りとなるのです。今回のテーマ、「水回り」の空間は落ち着きや楽しさを感じる仕上げを紹介しました。住まい手の年齢や好みでそれに雰囲気が違ってくるも

# 神戸発、一級のパティシエを育成

職人志向の進む現在、パティシエへの志望者も年々高まっている。神戸国際調理製菓専門学校では洋菓子・パンづくりのプロを育成するため元町校舎が完成。4月1日によいよ開校する。



新校舎完成を祝うレセプションパーティ

ぶりを博している。

そのようなニーズに応えるべく、一流のパティシエを育成するため、4月1日から神戸国際調理製菓専門学校神戸元町校がオープンした。

神戸南京町のすぐ西側に誕生したこの8階建ての新校舎。1階はオープンキッチンになっていて、ここで実習生たちが洋菓子やパンを作る様子が窺える。生徒たちが作ったパンや洋菓子は、そのまま陳列され、学校というよりも洋菓子のお店というイメージが強い。

3月24日には、ホテルオークラ神戸で関係者を集めたレセプションパーティが開催された。育成学園の植木砂織理事長は「製菓衛生師科には、定員を超える志望をいただきお断りをし、心苦しい思いをしてきました。新校舎の開校にあたり、育成ルネッサンスと題して、スタッフの意識改革から進めてきました。食を通じて、人間として社会人として立派な人材を育



兵庫県洋菓子協会  
会長の比屋根毅さん

兵庫県専修学校各種学校連合会  
会長の稻葉豊さん

育成学園理事長の植木砂織さん

◆3月24日 レセプションパーティーの様子（ホテルオークラ神戸にて）



神戸南京町のすぐ西側に誕生した神戸国際調理製菓専門学校校元町校



「CP」のバナーが栄町通を華やかにする

1階はオープンキッチンに

事務所は2階に

成していきたい。気が引き締まる  
想いがします」と抱負を語った。  
また、同じ洋菓子に携わるエール  
を送った。

「少子化で生徒の数も減っていますが、専門学校は私立ですから、  
国からの補助もありません。消極的な取り組みではなく、攻めの姿勢で教育に取り組んでほしい」と  
稻葉豊さん（㈳兵庫県専修学校各  
種学校連合会会長）。

「私も会社を尼崎で興しました。

創立者の植木清さんとは、創業からのお付き合いで、夜遅くまで洋菓子のことについて話し合ったもので。新校舎の完成を機に、アルチザン時代の先駆けとして、菓子文化を全国から集う学生たちに広めてもらいたい」と㈳兵庫県洋菓子協会会長の比屋根毅さん（㈱エーデルワイス代表取締役会長）。

4月からは、製菓衛生師科には176人、シェフ科に34名が第一期生として、洋菓子とパンのシェフの育成を目指す。講師陣もホテルや企業の第一線で活躍する一流のパティシエがそろう。教育プロジェクトは一年間だが、その後少數精鋭の実演コースを設けている。習うより慣れることで、徹底的に鍛え上げる。育成学園の卒業生が、全国の洋菓子業界が活躍する日も遠い日ではなさそうである。

# 次代を創る ⑯ 中内 仁

## 神戸のリーダー

### ホスピタリティカンパニーを目指して。 顧客のニーズを理解し、追求していく。

日本中から喝采を浴びたポートピア博覧会が開催された1981年に神戸ポートピアホテルが誕生した。当時、神戸市ではコンベンション都市宣言を行なうなど、国内外からの会議を誘致するなど積極的な活動を行なってきた。現在、神戸市では全国に先駆けて先端医療産業都市構想を掲げるが、ホテル業界としても大きな期待を寄せている。関西のホテル業界の旗手として期待される中内仁社長に、神戸のホテル業界の可能性などについてお話を伺つた。



中内 仁 (なかうち ひとし)

1966年12月生まれ。

1989年3月慶應義塾大学商学部卒業。

1989年4月株式会社神戸ポートピアホテル入社。

1992年5月米国コーネル大学ホテル経営学部大学院修士課程卒業。

1999年4月株式会社神戸ポートピアホテル代表取締役総支配人。

## NY留学で学んだ 現場のホテル経営

次代を創る神戸のニューリーダー

ポートピアホテルの開業は、1981年3月9日で、今年で24年目になります。当時、私はまだ中学生だったのですが、父親が働く場所を見に来て、ポートピア博覧会がすごく華やかだったのを憶えています。UCC館やダイエー館、コーヒーカップや潜水艦型のパビリオンなど、いまだよく憶えていますよ。

1989年に新入社員として入社しました。その後、1990年から1992年の間、アメリカに留学させてもらい、ホテル経営学を学んできました。ニューヨークのコネル大学という、約140年の歴史がある大学です。ホテルスクールは創立80年ほどになりますが、そこで修士課程を学んできました。最初の1学期めは、マーケティング・料理飲料・建築・人事・会計の5つのコースを、チーズに分かれて、グルーブスタディの形態で勉強します。グルーブでひとつのこと成し遂げるということは、ホテルプロジェクトにはとても大切なことなのです。フィールドスタディでは、実際に建築予定地に行き調査もした上でホテル事業の成否を判断する投資家向けレポートを完成させます。

グループスタディでは人間関係が難しくなる時もありましたが、良い結果を出す為にはお互いに協力することが必要でしたね。私は英語が得意でなかったのですが、グループでは会計を担当するなど、お互いの強みを持ち寄って協力していました。ライバル意識が高いアメリカの大学で、ほかの学部と比べると、かなり仲間意識の強いところだったよう思います。

留学について、学校の勉強が実際の現場で役に立つかどうかは、議論となるところだと思います。勉強そのものが役に立つというよりは、他では得難い人脈・知己を得たことと、外に飛び出して話を聞いて、さまざまなことを体験できたことが何よりの収穫ですね。イギリスや香港のホテルで、実際に働く経験もできましたからね。

人材教育については、3年前に従業員のミッション（使命とするもの）を文章として社内の委員会で作成しました。昔から経営理念や社訓はあったのですが、それらはやや概念的で大きな柱のようなものです。行動の基準なども明文化して、少し細かい部分まで定めた共通の価値観が必要でした。アイコンタクト、笑顔、苦情は自分で処理するなど、些細な日常業務に関する事まで、ベーシックにおいては15項目52種類の行動基準リストをつくりました。このベーシック（行動基準）とともに、ミッション、ビジョン、バリューの合計4つの柱をつくりました。ミッションとは、私たちが使命とするものです。お客様を『個客』としてお迎えし、喜びそして楽しんでいただくためにあらゆるサポートをしますということです。ビジョ

街の方が銀座より坪単価が安いといふことが購入の判断基準になつたような印象を受けました。ホテルはホスピタリティ・ビジネスであると同時に、土地に高い付加価値を与えていくという意味で、不動産業であることも忘れてはならないと思っています。

## 行動基準を明確に 優秀な人材を育成

ンは、私たちが目標とするものであります。すべてのお客様に、心豊かな時空間を演出するホスピタリティカンパニーを目指すということで、

「暖かさ」「くつろぎ」「愉しさ」のあるホテルを目標としています。そしてバリューは、私たちが大切にしていることです。「ホスピタリティ」「クオリティ」「コミュニケーション」「チームワーク」の4つを大切にしていこうということです。

会社としては、ホテルという言葉が持つ固定観念だけにとらわれないことに気を付けています。ホスピタリティを軸に、様々な方面に常に目を向けていなければなりません。例えば、アメリカの鉄道会社は、線路を敷き、電車を走らせることが自分たちの仕事だと思つていました。しかしお客さんから見れば、A地点からB地点に安全・確実・迅速かつリーズナブルなコストで運んでもらうことが目的なのです。このことに鉄道会社が目を向けなかつた結果、アメリカでは移動手段として飛行機が全盛となり鉄道は衰退産業となつたのです。ホテルも、部屋にベッドを用意して寝てもらうことや、食材を調理して食べてもらうことだけにとらわれていてはいけないのだと思っています。お客様の求めていらっしゃるニーズは何かということを常に考えて、変化するお客様

のニーズに対応していくことが必要です。

人材については、常にクオリティを上げていきたいと考えています。現在、全社で約450人の社員がいます。月に一度は総支配人メッセージを送つて私の思うところをスタッフに伝えるようにしていますが、その中で繰り返し自身の能力向上を訴えかけています。研修の機会も増やしています。海外や

東京、福岡のホテルとの、人事交流なども行っています。また、うちのレストランの本店がフランスのリヨン郊外にあるので、本店の方にも行ける機会をつくっています。やはり百聞は一見にしかずですからね。国内のレストランにも、社員を連れて時に一緒に食べに行きますよ。よいお店は勉強になりますから。味も盛りつけ方も、それぞれのお店ごとに工夫が凝らされていますね。神戸にも本当に良い個店がたくさんあります。繁盛店では、みなさんお店に全身全霊を傾けていますよ。お客様に評価してもらう為にはその位の迫力が必要だなどつくづく思います。

は上がりります。これはホテルの将来にとつては、明るいことだと思いますが、ただ空港ができるといただけでは、少しインパクトに欠けますね。空港ができることにより、産業の集積が増えてきます。その結果、神戸を訪れる人も増えます。ここで初めて、まちに活気が出てくると思います。

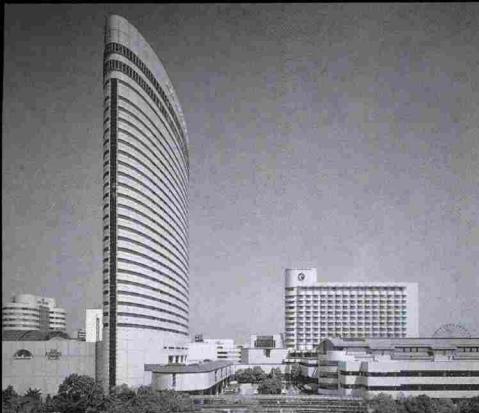
先日、1週間ほどアメリカ東海岸と中西部に行つて来ました。そこでアメリカでも最先端の医療都市を見学してきました。米国ではワシントンD・CにあるN I H（国立衛生研究所）という機関が、国家のすべての医療費予算の振り分けをするそうです。当然、少しでも研究費を振り分けてもらおうと、全米から研究者が訪れます。そしてこのN I Hの近くのボルチモアという都市にジョンズホプキンスという病院があるのですが、ここは癌治療に関して、世界のトップレベルで、全米の病院ランキンゲで長年1位を誇る病院です。研究機関、教育機関、臨床すべてが同じ場所にあり、最先端の治療が受けられるということで、世界中から人が集まつくるのです。

その後、オハイオ州のクリーブランドにも行つて来たのですが、ここは心臓病の治療に関して世界的に有名なところです。クリーブランドでは、病院とホテルが渡り

平成17年の神戸空港の開港により、ポートピアホテルの立地条件

## ホスピタリティを基本に 新しいビジネスへ

は上がりります。これはホテルの将来にとつては、明るいことだと思いますが、ただ空港ができるといただけでは、少しインパクトに欠けますね。空港ができることにより、産業の集積が増えてきます。その結果、神戸を訪れる人も増えます。ここで初めて、まちに活気が出てくると思います。



ホテルと病院との関わりなど新しいホテルビジネスを視野に入れる

次代を創る神戸のニューリーダー

患者さんは勿論ですが、多くの研究者もホテルを利用します。ホテル内の宴会場や国際会議場ではクリニックでの実際の手術をモニターで映し出し、リアルタイムで手術室にいる執刀医の方と双方向のコミュニケーションをとりながら、授業や研修を受けることができるのです。最先端の医療設備がそろっていますから、研修医も患者もここに集まっています。ただ医療費は高いですね。アメリカは階層社会ですから、富裕層がここに集まっています。医療費が高くても最高の医療を求める患者さんに対して、それに応えられる施設を持つているということです。アメリカは寄付に対する考え方や制度が日本と

廊下でつながっています。このホテルの所有者はクリニックの財團で、ホテルの経営をプロのオペレーターであるインターベンチネットルホテルに委託しているのです。

はかなり違いますから、個人が100億円近く病院に寄付することもあるそうです。そのような寄付があつても最先端の医療を提供する為には相当なコストがかかるようです。

われているということです。神戸市は20年前にコンベンション都市を打ち出しました。これは日本では先駆けだったと思います。20年前に打ち出したテーマですが、神戸にはまだまだやれることがたくさんあると思うのです。

神戸も医療産業都市構想を掲げています。ホテルと病院の関係が、これまで以上に重要なになってくるのだと思います。クリープランドクリニックでは、病院のすべての施設が相互に連絡通路でつながり、またホテルともつながっています。かなり先のことになるでしょうけれども、将来的には神戸もクリーブランドのようになるかも知れません。

お客様のニーズを理解し、さらに追求していくべきは、現在のマーケットには提供されていないサービスも生まれてくるはずです。ホテルとしてまだまだやれることができて、まだ残っているのです。他方、ホテルの枠に捉われない、新しいビジネスへ参入していくべきではないでしょうか。

オハイオ州の次はシカゴに行き、マコミックプレイスというコンベンションセンターを見てきました。ここには3つの大きな展示室があり、最大の部屋は9万m<sup>2</sup>、その他2室は3万m<sup>2</sup>クラスの展示室でした。さらに4400席のシアタースタイルの国際会議場も附設されました。神戸の国際展示場は1号館、2号館を併せて6800m<sup>2</sup>ほどですから非常にスケールの大きな施設でした。さらにも驚いたのは、施設全体の年間稼働率が85パーセントもあり、部屋が足りないほどでした。

りない為、現在新たな展示室を建築中ということでした。それだけ大きな会議やイベントが、常に行

神戸ポートピアホテル  
神戸市中央区港島中町6-10-1  
078-302-1111  
<http://www.portopia.co.jp/>